

科 目 名	必修／選択	単位数	学 年	学科
論理国語	必修	2	3	普通科

科目の概要	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動をとおして、国語で的確に理解し、効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。 (2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ、自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉をとおして他者や社会に関わろうとする態度を養う。			
	教科書	「精選 論理国語」(数研出版)		
教材名	副教材	「入試頻出漢字＋現代文重要語彙 TOP 2500 三訂版」(いっずな書店) 「共通テスト対策新しい第3の現代文集中完答 11」(尚文出版) 「大学入学 共通テスト演習 現代文 五訂版」(いっずな書店)		
担当者	堀 康之 熊谷正志			
学習到達目標	(1) 国語の知識や技能を身につけるようにする。 (2) 論理的、批判的に考える力を伸ばす。 (3) 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ、自己を向上させ、言葉をとおして他者や社会に関わろうとする態度を養う。			
学習方法	・「語彙力」を増やす。 ・文章の構成や展開、表現の仕方について理解する。			
評価基準と評価規準 ルーブリック		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
	評価方法	考查 漢字テスト 課題 など	考查 授業中の活動 課題 など	授業中の活動 考查に向けての取り組み 漢字テスト 提出物 など
	A	実社会に必要な国語の知識や技能について十分に理解できる。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、他者との関わりに中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを深めることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉をとおして他者や社会に関わろうとしている。
	B	上記 A の項目について、概ねできている。	上記 A の項目について、概ねできている。	上記 A の項目について、概ねできている。
	C	上記 A の項目について、努力を要する。	上記 A の項目について、努力を要する。	上記 A の項目について、努力を要する。

年 間 学 習 計 画

月	章 ・ 単元	学習内容・目標等	時数	備考(テスト・講習等)
4	『「文化が違う」とは何を意味する のか?』 岡 真理 (「読むこと」教材)	真の文化相対主義といわゆる「にせ」の 文化相対主義の二項対立をとらえた上で、 真の異文化理解について考えさせる。	6	授業の始めに 評論・実用文読解 の速読演習を行う 単元の合間に共通テス ト対策教材を扱う
5	「メディアのテロル」 山田登世子 (「読むこと」教材)	メディアの隆盛によって私たちが失った ものの根本的なところを理解し、「経験」 とはどのようなものか、「経験が崩壊する」 とはどのような状況に陥ることかについ て考えさせる。	6	
6	前期中間考査		1	
7	「環境と心の問題」 河野哲也 (「読むこと」教材)	環境問題の背景には「物心二元論」があ り、それが近代の人間観と相まって生態 系を破壊し、人間も動物も住めなくなる ような「悲劇的帰結」をもたらしている ことについて考えさせる。	6	
	「顔の所有」 鷲田清一 (「読むこと」教材)	段落毎のキーセンテンスを見いだしつつ 論の展開を押さえ、筆者の主張を捉える。 難解な文章なのでキーワードをマークし ながら、その関係に留意しながら論の展 開を丁寧にたどらせる。	5	
8	「人はなぜ働かなくてはならない のか」 小浜逸郎 (「書くこと」教材)	筆者の「労働の意義」について、社会性 を認識しながら理解させる。「働く」こ とを通して人と人との関わりについて理 解することで、今後の評論文読解に役立 てる。	5	模試の過去問は 実施状況により、 時期等を配慮する
9	前期期末考査		1	
10		「大学入学 共通テスト演習 現代文 五訂版」(いっずな書店)	30	
11		センター試験・共通テスト過去問		
12		模試過去問など		
			計 60	